

扇精光グループ



KYUSHU OKINAWA
TOP FILE
2023

九州・沖縄を担うトップ群像



濱口晴樹扇精光ソリューションズ社長(左)と池田久美子扇精光ホールディングス社長、安部清美扇精光コンサルティング社長

「グループの総合力強化し、地域に一層貢献」

扇精光ホールディングスは、扇精光コンサルティングと扇精光ソリューションズを両輪に、事業を通して地域の発展に貢献し続けている。

扇精光コンサルティングが手がけるのは、道路や河川、橋梁などの設計や測量、調査解析、文化財調査などである。

22年度も国土強靱化計画に伴う工事案件が継続し、業績は堅調に推移した。県内には斜面地に対応した砂防施設が多く、その点検はもちろん、新規の補強工事も多かったという。

UAV（ドローン）に関しては、各方面から引き合いが多いため、新型ドローン採用と人員増を計画している。3Dレーザースキャナーを搭載したドローンは各種工事で活用されるほか、県が進める「長崎南北幹線道路」に関する調査でも活躍。概要を3D化し、ボーリングデータと組み合わせてプロジェ

クト全体の基礎資料作りにも貢献した。また、国や県のDX推進にも寄与、ドローンや小型カメラなどを使って用地関係のDXの枠組み作りに取り組んでいる。



扇精光ソリューションズは、情報システム機器・測量機器の販売、業務システムの開発から運用・保守サービスまで手がけるIT関連企業。円安で各種機器が高騰する中、次第に利益の確保が厳しくなってきたという。そこで取り組むのがコールセンターの整備である。クラウドなどを活用した新たなサービスがリリースされる中、十分な

サポート態勢を整備することで、クライアントの信頼獲得と関係強化を一層図りたい考えだ。

都道府県や市区町村などの地方自治体のコンピュータネットワ

ークを相互接続した広域ネットワーク「LGMAN」に関しては、県内外の3自治体からの受注に成功、開発に着手している。今後は県外需要も積極的に取り込んでいくという。

扇精光ホールディングスは「業務のDX化が叫ばれる中、両社が連携す

ことで、より質の高い提案ができています。採用やブランディング、エンゲージメントの強化に取り組み、会社の基盤を一層強化したい」と話している。

【所在地】
長崎県長崎市田中町585番地5
【TEL】095-839-2111
【FAX】095-839-7766
【URL】<https://www.ougis.co.jp>